農業者年金の加入者の皆様へ

（資金運用に関するアンケートへのご協力のお願い）

令 和 ２ 年 １ １ 月

(独)農業者年金基金

日頃より、農業者年金の運営にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

農業者年金基金は、加入者の皆様からお預かりした保険料を法令等に従い、国内債券、国内株式等に分散投資すること等により、安全かつ効率的に運用し、長期的に安定的な収益を確保することに努めております。

昨今の金融情勢をみますと、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大や米中対立などにより、運用環境の不透明感がますます高まる一方、当面、金利は極めて低い水準で推移することが見込まれております。

こうしたことから、農業者年金の令和元年度の運用利回りは、２月から３月にかけての株価の大幅な下落等により▲２．０８％となりましたが、直近５年間（平成 27～令和元年度）の平均運用利回りは１．３６％、新制度発足以降 18 年間（平成 14～令和元年度）の平均運用利回りは２．５５％とプラスの利回りを確保しております。

金融情勢の変化の中で、今後とも農業者年金がこうした安定的な収益を確保するため、加入者の皆様方のご意見、ご意向をお伺いし、今後の運用に活かして参りたいと考えております。

つきましては、この度、**「農業者年金の資金運用に関するアンケート調査」**を実施させていただくことになりました。

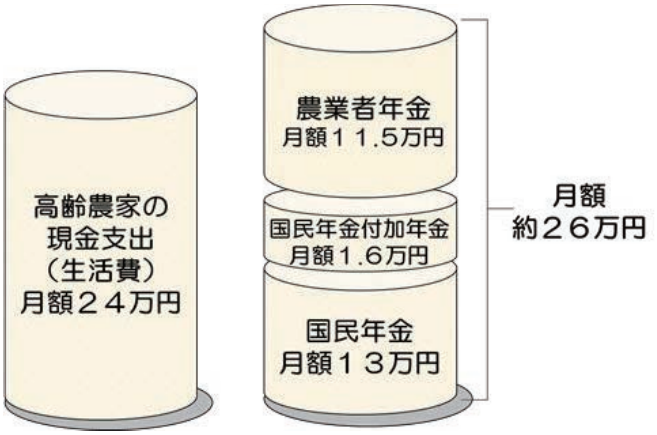
ご多忙のところ誠に恐縮ですが、アンケート調査へのご協力をよろしくお願いします。

（注）ご回答は無記名式となっています。また、ご回答いただく内容は、今後の農業者年金基金における資金運用業務の参考資料として活用するものであり、それ以外の用途に用いることはありません。

農業者年金の資金運用に関するアンケート

次の各問について、あなたのお考え（率直なご印象で結構です。）に最も近いものを選択肢の中から**１つだけ選び**、同封の回答用はがきの回答欄のうち該当する記号（英字）を〇印で囲んで、**11月30日（月）までに**、**切手を貼らずに**ポストに投函していただきますようお願いします。

【農業者年金の受給時のイメージ】



夫婦2人が20歳から40年間、月額2万円で加入した場合は、年金額は、月額11．5万円（試算）となります。これに国民年金約13万円及び付加年金1．6万円を足すと約26万円と、老後生活に必要な現金支出をまかなえる水準となります。

問１ 農業者年金基金のこれまでの運用状況は【図表1】のとおりです。また、新制度発足以降１８年間の運用利回りの平均は２.５５％、直近５年間の運用利回りの平均は１．３６％です。このような運用結果について、どのようにお考えですか？

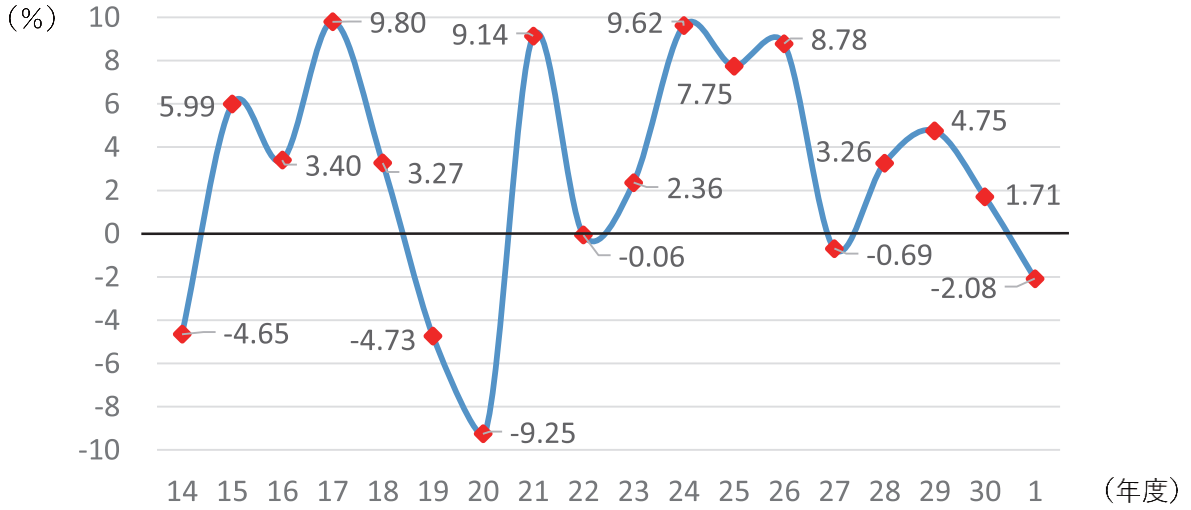
（ご自身の加入時期（加入期間）にかかわらず、ご自身が期待する運用利回りとの比較でお答えください。）

（選択肢）

a．大変満足している　　b．概ね満足している

c．やや不満である　　d．非常に不満である

【図表1】農業者年金のこれまでの運用利回りの推移（過去18年間）



問2 農業者年金制度は、運用利回り（リターン）とリスクの異なる複数の資産を組み合わせて運用しています。安定的に運用することを基本に、運用利回りを上げるためには、【図表2】のように、リスクの高い資産の保有割合を増やすことになります。

現在の運用利回りとリスクについて、どのようにお考えですか？（現在の運用利回りについては、直近５年間の平均運用利回りである１．３６％を基準としてお答えください。）

（選択肢）

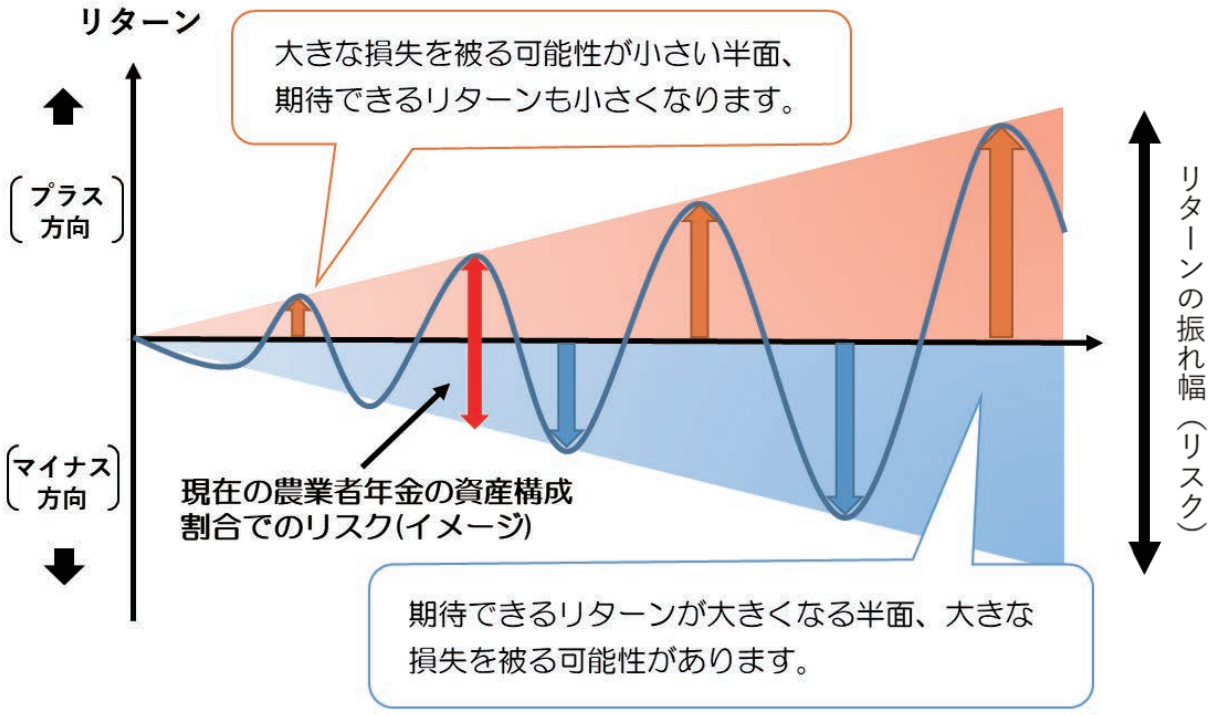
a. たとえ運用利回りが下がったとしても、今以上、リスクは増やしたくない。

b. 現在の運用利回りでは少し足りないので、もう少しリスクを増やすのもやむを得ない。

c. 現在の運用利回りでは全然足りないので、もっとリスクを増やすのもやむを得ない。

d. 運用利回りとリスクをどのようにするかは基金にお任せする。

【図表2】運用利回り（リターン）とリスクとの関係（イメージ）



（注）一般的には、『国内債券＜外国債券＜国内株式＜外国株式』の順にリスクが高くなります。

問3 今後の長期的な運用利回りについて、どの程度の平均利回りを期待されますか？【図表３】をご活用のうえお答えください。

（なお、農業者年金基金には、65歳の年金裁定の時に、元本まで補填する仕組みがあります。これは、年金裁定時に付利累計額がマイナスとなっている方については、このマイナスがゼロになるまで可能な限り補填する仕組みです。）

（選択肢）

a．１.５％（直近５年の平均利回り並み）

b．２.０％

c．２.５％（制度発足来の平均利回り並み）

d．３.０％以上

e．基金にお任せする。

【図表3】20歳または40歳で加入した場合の年金月額の目安

（夫婦で加入して６５歳から受給する場合における夫婦の合計額（月額））

加入年齢	納付期間	月額保険料（１人当たり）	利回り別予想年金月額（試算値）				
			0%	1.5%	2.0%	2.5%	3.0%
20歳	40年	2.0万円	6.4万円	9.1万円	10.0万円	11.5万円	12.6万円
40歳	20年	5.1万円	8.2万円	10.1万円	10.6万円	11.5万円	12.1万円

（注１）６５歳の裁定時までに各選択肢にある長期的な運用利回りが確保できた場合に予想される年金月額を試算したもので、将来受け取ることができる年金額を保証するものではありません。

（注２）利回り別年金月額欄の「０%」は、上記でご紹介した年金裁定時において付利累計額がマイナスとなった場合に元本を補填したケースについての試算です。

今後のご説明資料等の参考とするため、以下の問いにもお答えください。

問4 問１～問３の質問内容や図表について、以下のうち最も近いものを選んでください。

（選択肢）

a. とても分かりやすかった

b. まあまあ分かりやすかった

c. 分かりづらかった

d. とても分かりづらかった

問5 参考資料の内容について、以下のうち最も近いものを選んでください。

（選択肢）

a. とても分かりやすかった

b. まあまあ分かりやすかった

c. 分かりづらかった

d. とても分かりづらかった

e. 参考資料は見ていない

ご回答いただきありがとうございました。

最後に、あなたのお住まいの都道府県、年齢、性別、加入年数（下記の早見表をご覧ください。）についてお尋ねします。回答用はがきの回答欄にてご回答ください。

このアンケートや資金運用に関するご意見・お問い合わせがございましたら、下記枠内までお電話ください。また、ご意見に関しては、回答用はがき表面のご意見欄に記入していただくこともできます。

（独）農業者年金基金　資金部企画課　電話：０３－３５０２－３８９８

【加入年数早見表】

選択肢	加　入　時　期
５年未満	平成28年（2016年）1月以降
５年～10年未満	平成23年（2011年）1月～平成27年（2015年）12月
10年～15年未満	平成18年（2006年）1月～平成22年（2010年）12月
15年以上	平成17年（2005年）12月以前

参考資料

基金の運用利回りなどをより詳しくご説明した資料になりますので、ご興味のある方は是非ご覧ください。

《 目次 》

1．基金のこれまでの運用成績は？

2．モデルケースから見た年金月額の目安は？

3．平成14年度初に100円投資していたら・・・

4．資産別 運用利回り寄与度（試算値）

5．基金とＧＰＩＦの運用利回りを比べると。

1．基金のこれまでの運用成績は？

- 新制度発足以来18年間（平成14～令和元年度）の平均運用利回りは

2.55 %

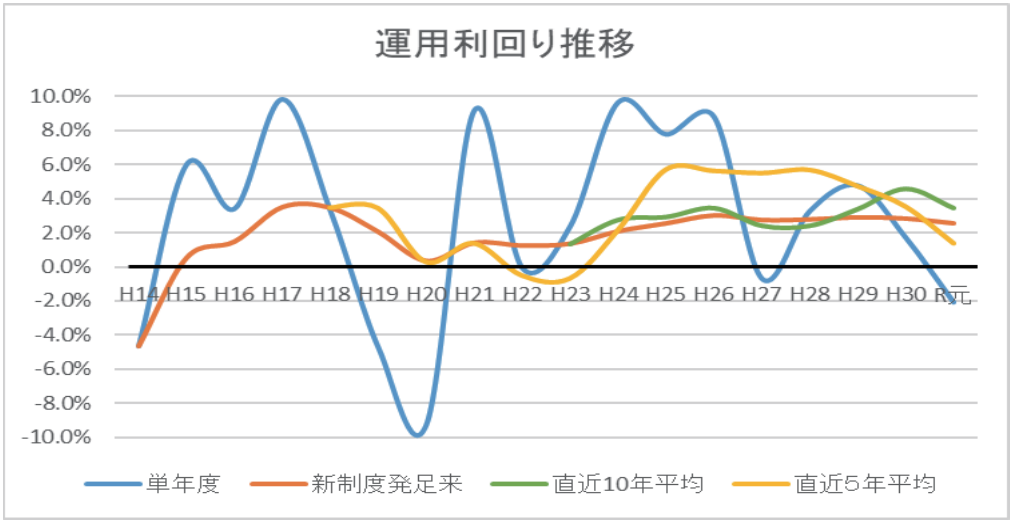
- 直近10年間（平成22～令和元年度）の平均運用利回りは

3.47 %

- 直近５年間（平成27～令和元年度）の平均運用利回りは

1.36 %

（※）何れも幾何平均による年利回り。



（※）各年度の運用利回り（青い線）を見ると年度によってかなりの凸凹が見られますが、長期的に平均を取っていくと、今のところ、比較的安定した運用利回りが確保されていると言えます。なお、５年など平均を取る期間が短いほど直近の運用環境の影響を受けやすいことには留意が必要となります。

2．モデルケースから見た年金月額の目安は？

【モデルケース】

夫婦二人で加入し65歳の裁定時まで保険料を通常納付する場合を想定。

〔高齢農家の現金支出（生活費）〕

月額 **24** 万円

（平成30年度総務省家計調査）

〔国民年金〕

月額 **13** 万円

（夫婦とも20歳から40年間加入した場合）

〔国民年金付加年金〕

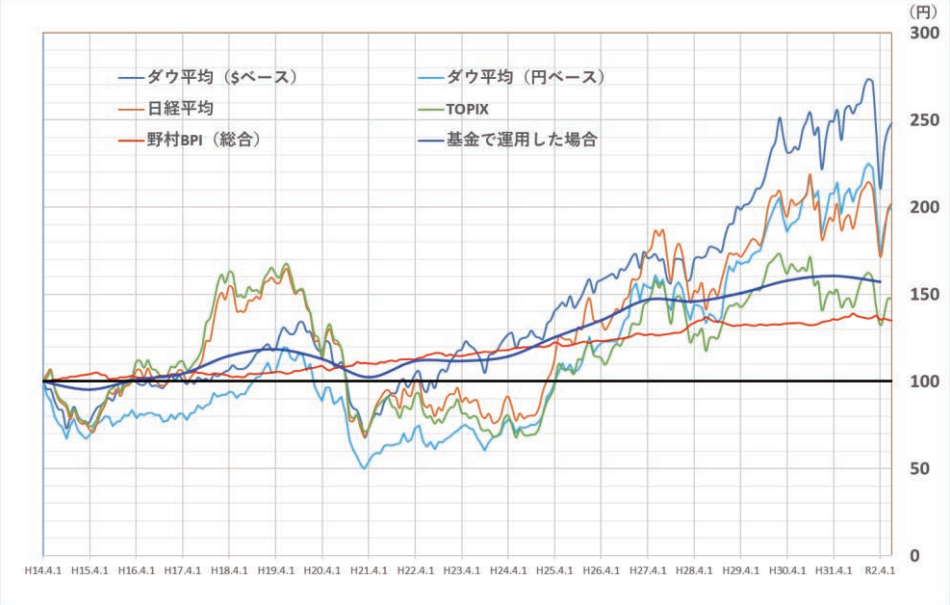
月額 **1.6** 万円

足りない分は・・・

加入年齢	納付期間	月　額保険料（１人当たり）	利回り別予想年金月額（試算値）				
			0.0％	1.5％	2.0％	2.5％	3.0％
20歳	40年	2.0万円	6.4万円	9.1万円	10.0万円	11.5万円	12.6万円
30歳	30年	3.0万円	7.2万円	9.5万円	10.3万円	11.4万円	12.3万円
40歳	20年	5.1万円	8.2万円	10.1万円	10.6万円	11.5万円	12.1万円
50歳	10年	6.7万円	5.4万円	6.2万円	6.4万円	6.7万円	6.9万円

（注）この表は、６５歳の裁定時において問３の選択肢にある長期的な運用利回りが確保できた場合に予想される年金月額を試算したもので、将来受け取ることができる年金月額を保証するものではありません。

3．平成14年度初に100円投資していたら…



（注）本試算では、各指標（基金除く）について、利子・配当・税金等を考慮していません。

基金の値は、各年度とも平成14年度からの幾何平均利回りで複利運用した場合の試算値です。

- 米国株式（ダウ平均）又は日本株式（日経平均）に投資していたら　約200円

  外国株式は円高（14年度初133円/ﾄﾞﾙ→現在約107円/ﾄﾞﾙ）により資産が目減りします。

- 日本株式（TOPIX）に投資していたら　約150円

  株式はハイリスク・ハイリターンであり、元本割れが続くことも…

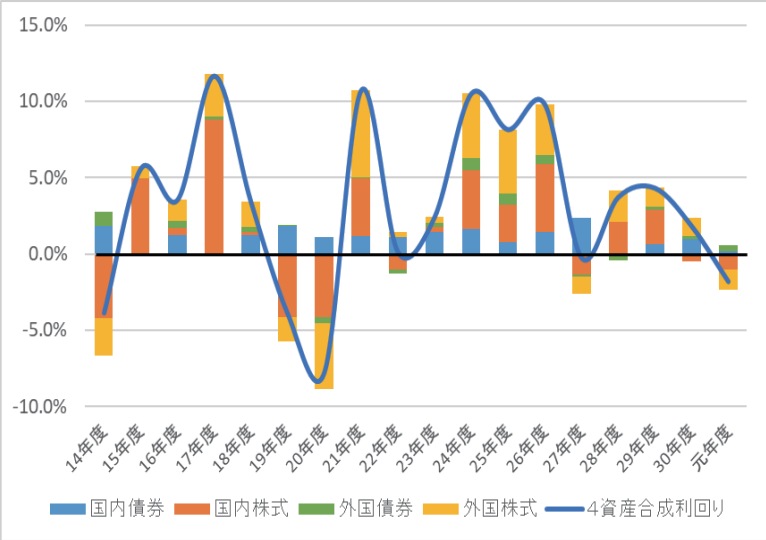
- 日本債券（野村BPI）に投資していたら 約135円

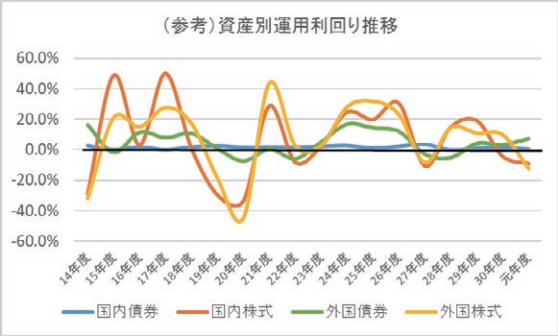
  安定的ですが、大きく増えることも有りません。

- 基金で運用していたら 約160円（令和元年度末）

  国内外の株や債券を組み合わせることで変動幅を抑えながら収益を確保しています。

4．資産別 運用利回り寄与度（試算値）





《コメント》

このグラフでは、短期資産を除く国内債券等４資産のみで運用した場合の、各資産の運用利回りへの寄与度を示しています。

寄与度は、資産別利回り×資産構成割合（各年度末の実績値を用いています。）により算出しています。

〔参考〕 基金の資産構成割合（政策アセットミクス）

	国内債券	外国債券	国内株式	外国株式
資産構成割合	**７１％**	**５％**	**１２％**	**１２％**

（注）このグラフは、基金のＨＰで公表している各年度の資産別運用利回りと各年度末の資産構成割合から試算したものです。

5．基金とGPIF（※）の運用利回りを比べると。

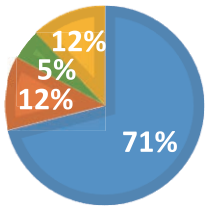
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	直近５年平均	平成14年度来幾何平均
基 金	▲0.69%	3.26%	4.75%	1.71%	▲2.08%	1.36%	2.55%
GPIF	▲3.81%	5.86%	6.90%	1.52%	▲5.20%	0.93%	2.83%

（注）ＧＰＩＦの平成14年度来幾何平均は、ＧＰＩＦの公表資料から基金において計算した値です。

〔参考〕資産構成割合

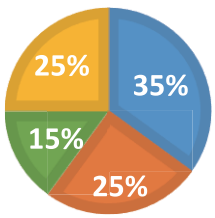
基　金

■国内債券 ■国内株式
■外国債券 ■外国株式



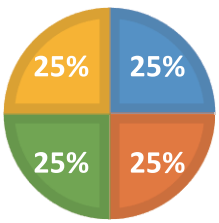
GPIF
（令和元年度まで）

■国内債券 ■国内株式
■外国債券 ■外国株式



GPIF
（令和２年度から）

■国内債券 ■国内株式
■外国債券 ■外国株式



《コメント》

基金に比べ資産に占める株式の割合が高いＧＰＩＦでは、収益のブレ＝リスクが大きい分、運用益がプラスの時もマイナスの時も、基金よりも大きな収益（損失）となる傾向にあることが分かります。

（※）**ＧＰＩＦ**は、正式名称を「年金積立金管理運用独立行政法人」といい、厚生年金、国民年金を運用している運用額世界最大の公的年金です。

郵　便　はがき

料金受取人払郵便

芝局承認

0000

差出有効期間
2020 年 12 月
31日まで

（切手を貼らずにお出し下さい）

1 0 5 - 8 7 9 0

※これは見本はがきです。
使用できません。

東京都港区西新橋一丁目六番二十一号

独立行政法人
農 業 者 年 金 基 金
資金部　企画課　　行

ご意見・ご感想がございましたら、こちらへご記入ください。
（※住所・氏名は記入しないでください。）

アンケート回答用はがき

回答欄に該当する記号を１つだけ○で囲んで下さい。

問番号	回答欄
問１	a　b　c　d
問２	a　b　c　d
問３	a　b　c　d　e
問４	a　b　c　d
問５	a　b　c　d　e

性別	男	女	
ご年齢	20代 40代 60代	30代 50代	※該当する方を○で囲んで下さい。 ※該当するものを○で囲んで下さい。
ご住所		都道府県	※お住いの都道府県の記入をお願いします。
ご加入年数	５年未満 ５年～10年未満 10年～15年未満 15年以上		※該当するものを○で囲んで下さい。

ご協力ありがとうございました。